

- I 目的
 本校の教育活動に対し、外部から評価してもらい、今後の学校づくりに活かしていく。
- II 対象・・・該当する()に○をつけて下さい。
 1 P T A 役員 (10名)
 2 学校評議員 (4名)
- III 評価項目・・・該当する欄に○をつけて下さい。
 【 A : と思う B : だいたいと思う C : そう思わない D : まったくそう思わない】

項	評 価 項 目	A	B	C	D
1 教育 目 標	(1) 学校目標に生徒の実態や保護者・地域の人々の願いや要望が反映されている。	5	8		
	(2) 教育目標はわかりやすい内容になっている。	9	5		
	(3) 父母・地域の人に学校目標や経営方針が様々な機会を通して知らされている。	6	7	1	
2 経 営 方 針	(1) 校長は教育課題を明確にし、学校改善を図るような方針を立てている。。	7	7		
	(2) 校長は学校の重点目標を定め、職員に周知させている。	6	8		
	(3) 校長は職員との信頼関係に基づいて、学校活性化をリードしている。	5	9		
3 学 習 指 導	(1) 授業時間を確保し、授業をしっかりと行っている。	10	4		
	(2) 学校の授業は楽しく、わかりやすいものになっている。	6	8		
	(3) 学習活動における生徒の能力や努力を公正・適切に評価している。	6	7	1	
4 進 路 指 導	(1) 3年間を見据えた計画的・継続的な進路指導を行っている。。	11	3		
	(2) 生徒の進路希望、能力・適性に応じた進路指導が行われている。	11	3		
	(3) 生徒の進路相談、保護者への進路説明会等が十分なされている。	8	6		
5 特 別 活 動	(1) 生徒会・学級活動は、自主・自立の伝統を継続・発展させている。	5	9		
	(2) 保護者との協力・連携の下に、部活動を奨励し、文武両道を推進している。	5	9		
	(3) 学校行事は生徒の主体性を重んじ、所属感を深める体験的内容になっている。	8	6		
6 生 徒 指 導	(1) 指導方針を生徒・保護者に十分に理解させて指導を行っている。	7	7		
	(2) 教育相談等で生徒理解に努めつつ、問題行動に対しては厳しく指導している。	9	5		
	(3) 学校・家庭・地域・関係機関が連携して生徒指導を行っている。	8	6		
7 環 境 美 化	(1) 全員参加による清掃が徹底されている。	6	7	1	
	(2) 樹木や草花の手入れが行き届き、情操教育に効果を発揮している。	5	9		
	(3) 施設・設備の整備に保護者・地域の要望が反映され、有効に活用されている。	7	6	1	
8 地 域 連 携	(1) 学校は地域社会に対して、積極的に学校の状況を周知させている。	7	7		
	(2) 学校はP T Aと積極的に連携・協力して教育活動を行っている。	8	5	1	
	(3) 近隣中学校・自治体・同窓会等との交流連携に努めている。。	3	9	2	
9 健 康 安 全	(1) 生命・人権尊重や、食育や健康管理などの指導が徹底されている。	7	7		
	(2) 交通安全等の指導や、校内の安全管理などを徹底している。	9	4	1	
	(3) スロープや階段の手すり等、バリアフリー化が進んでいる。	5	7	2	

【ご意見等がございましたら、お書き下さい】

- ・文武両道で頑張っている生徒の皆さん、校長先生、職員の皆さんが、頑張っているのが安心して、学校評議員を引き受けて、うれしく思います。
- ・お昼時には丸大スーパーでパンなどを買っている生徒が多いので、弁当持参をP T Aとも協力して、もっと奨励してはどうか。
- ・女子の制服については、夏服の制服も検討してほしい。
- ・大変、お疲れ様です。これからもどうぞよろしくお願い致します。

平成25年度 読谷高等学校外部評価考察

(PTA役員10名、学校評議員4名、計14名)

ほとんどの項目で、「そう思う」又は「だいたいそう思う」の評価であり、全体として肯定的な評価を受けている。ただ、前年度と比べ、Cの「そう思わない」との数が7から10と増えており、今後、改善していかなければならない。Cの項目部分は、AまたはBの評価が得られるような努力が必要である。

1. 教育目標

(3)の父母・地域等への経営方針等の周知について、今後はPTA総会や学級PTA、メーリングサービスを利用し、取り組みを強化していく必要がある。

2. 経営方針

すべての項目においてAまたはBの評価を受けている。今後とも職員との話し合いを尊重しつつ学校経営を進めて行く必要がある。

3. 学習指導

学習指導においては、(3)の「学習活動における生徒の能力や努力を公正・適切に評価している」にC評価があるのは、気になるところである。今後とも「分かる授業、楽しい学校」の実践の推進とともに、軌跡のノート活用や読高夢カレなどを通して生徒の自学自習の習慣の確立を図っていきたい。

4. 進路指導

進路指導も昨年度同様の良い評価を得た。今年度も国公立や私立大学の合格者数が大幅に伸び、保護者や生徒の期待に応えることができた。今後とも希望進路実現を目指して進路指導を強化していく必要がある。

5. 特別活動

昨年同様、良好な評価を得ている。今後とも生徒会を中心とした自主・自立の伝統を育んでいきたい。

6. 生徒指導

良好な評価を得ているが、今後とも、盗難や制服指導等など、保護者への周知・理解や地域等との連携をさらに密にしていく必要がある。

7. 環境美化

環境美化に関しては、C評価が2つあり、毎朝の全生徒・職員での清掃活動など、保護者・地域等への情報提供や連携等の取り組み強化が今後の課題である。

8. 地域連携

地域連携に関しては、C評価が3つもあるので、今後は生徒指導部主体の「紅の会」の中高連携の挨拶運動やPTAの朝の挨拶運動、読谷村の地域行事への職員・生徒の参加協力等の情報提供を強化していく必要がある。

9. 健康安全

(3)のバリアフリー化が十分に評価がされていないことについては、校舎改築に伴い、施設案内等の情報提供・公開を行い、本校の施設環境等について理解を深められるよう取り組みたい。